



菊池市が目指す将来像を実現するため、令和8年度から4年間の「第3次菊池市総合計画後期基本計画」がスタートします。

【問い合わせ先】市長公室政策企画係 ☎0968(41)4488

第3次菊池市総合計画 [後期基本計画]を策定しました

菊池市総合計画の詳しい内容は、ホームページから見る事ができます。



ホームページ

目まぐるしく変化する社会経済情勢や、多様化する地域課題・市民ニーズに対応するため、分野横断的に取り組む4つの項目を定義しています。視野を広げて、さまざまな課題やニーズを的確に捉え、より効率的・効果的かつ総合的な視点でまちづくりを進めていきます。

4つの横断的に取り組む項目

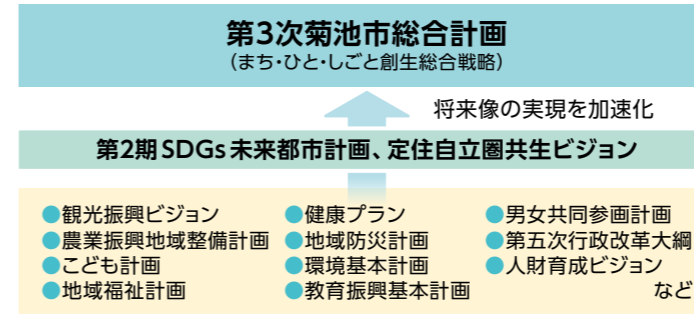
市が掲げる将来像には、将来にわたって夢や希望を持つことができ、誰もが住みたくなるようなまち。さらに、多くの人が集い、働き、遊び、多様な交流が生まれ、市民が豊かな生活を送ることができるまちを目指すと、この意味が込められています。

目指す将来像

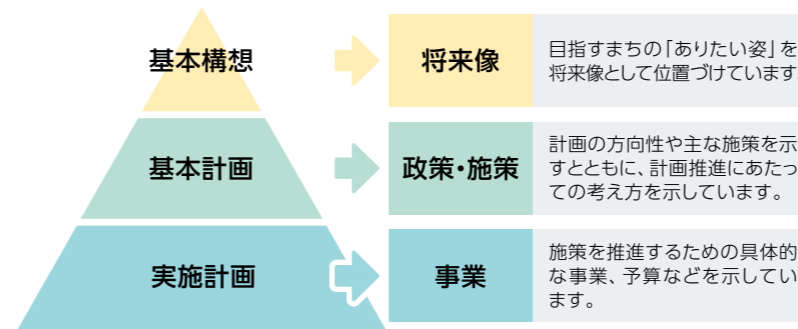
総合計画とは

総合計画は、市政運営における最上位の計画で、行政が携わる全ての分野における主要な施策の長期的な方針を示すものです。各部署の事業はこの計画の方針に基づいて進められています。後期基本計画は、5つの政策分野に「15のありたい姿」と「30の施策」で構成されています。

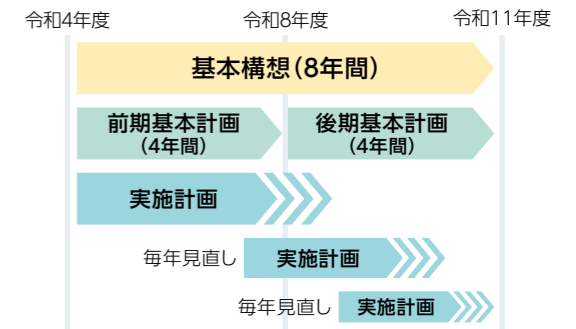
計画の位置づけ



計画の構成



計画期間



市の将来像とまちづくりのための3つの柱

将来像 人と自然が調和し 希望と活力に満ちた『癒しの里』きくち

まちづくりのための3つの柱

人

市民協働と人育成

主人公は私たち市民です。地域の魅力を高めるため、まちづくりについて市民とともに考え、市民主導による新しい地域社会をつくりまします。

自然

自然環境の保全と再生

受け継がれてきた美しい自然を次の世代に引き継いでいくため、市民主体の取り組みをさらに広げ、みんなでこの自然を守り、育てます。

経済

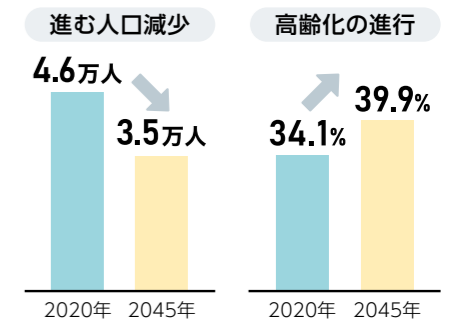
地域資源を生かした経済活性化

さまざまな社会の変化に的確に対応するとともに、地域資源を最大限に活用し、将来にわたって豊かに暮らすことができる持続可能なまちづくりに努めます。

計画を策定する過程で、市民3千人を対象にアンケートを実施し、市民が求めるまちの姿や各施策に対する重要度・満足度調査を行いました。また、客観的なデータから地域の長期的な変化や課題を整理した「菊池市版地域の未来予測」を基に、市民ワークショップを開催。「市の将来のありたい姿」や「その実現のために必要な施策」について対話を重ねました。市民の代表者で構成された総合計画策定審議会では、これらの取り組みから見えてきた市民の声を基に、全6回に

市民と共に考える

市の現状



4つの横断的に取り組む項目

人口減少への対応

本市の魅力を市内外に広くPRし、若者や子育て世代を中心とした移住者の受け入れや転出者の抑制を行うことで、人口規模の維持を図り、将来にわたって住み続けられるまちづくりを目指します。

市民協働と多文化共生

市民協働のまちづくりを加速させるため、多様な主体が協働・連携し、多世代交流や地域のつながり、支え合いを深め、さらには地域活性化の取り組みを進めます。性別や年齢、国籍などに関係なく、協働して暮らしやすいまちづくりを推進します。

デジタル、DX化の推進

日常生活に関わるあらゆる分野でデジタル技術を活用し、誰もがデジタル技術の恩恵を享受できる地域社会の実現を目指します。

SDGsの推進

SDGsのゴールを各施策に設定し、SDGsの理念や手法を取り入れた施策の展開を図るとともに、SDGsの普及啓発に向けて、市民などが実施するSDGsの取り組みとの連携を強化します。

市民が求めるまちの姿



SDGsカードゲームを使った市民ワークショップ

- 1位 安全・安心に暮らせるまち 40.6%
- 2位 福祉が充実したまち 33.9%
- 3位 交通環境が整ったまち 33.7%
- 4位 子育てしやすいまち 32.0%
- 5位 自然豊かなまち 25.8%

わたり審議を行い、計画の策定を進めてきました。本計画は、行政だけでなく市民一人一人がまちづくりの主役となり、共に未来を創るための指針として、市民と考えた計画となっています。